

令和6年8月市議会定例会が8月28日に開会され、市長が行政報告を行いました。
このページでは、その要旨を紹介いたします。なお全文は市ホームページで紹介しています。



市長から

8月8日午後4時43分ごろに日向灘を震源とするマグニチュード7.1の地震が発生しました。

この地震により、気象庁は「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」を開催し、南海トラフ地震の想定震源域では、地震発生から1週間程度は、大規模地震の発生可能性が平常時に比べて相対的に高まっているとして、午後7時15分に南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）を発表しました。

これを受け、市は直ちに災害対策本部班長会議を開催し、気象庁、国、県からの情報を収集するとともに、大規模地震が発生した場合の対応などについて協議を行いました。また、市民に対して

も、防災アプリや屋外スピーカー、戸別受信装置、市ホームページなどで避難経路の確認や家具の固定、備蓄品の確認など、地震や津波への備への再確認をしていただくよう呼びかけました。

8月15日午後5時に南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）に伴う政府としての特別な注意の呼びかけは終了しましたが、大規模地震発生の可能性がなくなったわけではありません。

市では、今後も地震の発生に注意しながら通常の生活を送ってもらうように啓発を行います。また、備蓄品の確保をはじめ、通信手段や防災の拠点となる庁舎等の施設整備に努めます。

総合防災訓練について

11月17日に長船中学校を会

場として、水害を想定した総合防災訓練を実施します。今年も主に地域住民主体の避難所運営を目的とした訓練を予定しています。

大規模災害においては、行政も被災し、限られた職員で避難所の対応をしなければならぬことが想定されます。また、長期間におよぶ避難所生活においては、ごみ処理やトイレの確保など衛生的な生活環境の維持や、感染症対策などの健康への配慮、施設内の防犯体制の構築など、日常生活とは異なるさまざまな対応が必要となります。

これらの課題に対応し、安心して共同生活を送るためには、地域住民が主体となった避難所運営が必要です。

今回の訓練は、国府小学校区の地域の人が主体となり、市、岡山県災害派遣福祉チーム、市社会福祉協議会などの

関係団体と連携し、避難者の受付、段ボールベッドの設置や食料・物資の運搬などの避難所運営訓練を行うこととしており、これらの訓練を通して、災害に強い地域づくりを進めます。



令和5年度
総合防災訓練の様子

小規模保育事業所の設置認可

市では、子育て世帯の転入増加により、年々保育ニーズが高まり、必ずしも希望する施設に入園できない待機者が7月末現在で53人となっております。特に0歳児から2歳児が多い状況となっております。このため、民間こども園の誘致など施設整備を進めてきていくところとします。

このような中、岡山市で小規模保育事業所を複数運営している事業者から、邑久地区で小規模保育事業を実施したいとの申し出がありました。

市としては、民間こども園の誘致と並行して、当該事業者の小規模保育事業所設置を認可する手続きをとることにしています。

瀬戸内市誕生20周年記念式典

瀬戸内市は、今年11月1日に市制施行20周年を迎えます。これを記念し、備前長船刀剣博物館において、テーマ展「日本刀の聖地・長船復興の祖 今泉俊光」を開催するなどの事業を行っています。

記念式典は、11月2日に開催を予定しており、瀬戸内市功労表彰・善行表彰の表彰式、記念講演などを計画しています。市民の郷土愛と一体感の醸成を図りながら、未来に向けて更なる発展を目指します。

地域ビジネス支援センターの整備

本庁舎西側の用地に建設を計画している産業振興拠点施設・地域ビジネス支援センター（仮称）については、これまで、地域の産学官金が連

携して「産業振興拠点施設整備推進協議会」を設立し、意見を集約しながら基本コンセプトを「地域と人が紡ぐしごと創造空間」とする基本計画の策定、基本設計を進めてきたところです。

8月2日にデジタル田園都市国家構想交付金の対象事業に採択されたことから、今年度中に埋蔵文化財などの調査と併せて、実施設計を行います。

全国学力調査結果

4月に実施した全国学力調査結果が7月末に公表されました。今年度は、小学校6年生の国語と算数、中学校3年生の国語と数学が実施され、瀬戸内市の平均正答率は、いずれの教科も全国平均を上回りました。

特に中学校3年生の国語と数学は全国平均を大きく上回り、これまでの学力向上の取り組みが実を結んでいるといえます。また、同一集団の経年比較においても、順調に学力をつけています。

業務時間外の外線電話対応

現在、西棟を含む市役所本庁舎各課室への業務時間外の外線電話は、一部のダイヤルイン回線を除き、夜間は宿直者、閉庁日の日中は日直者が対応しています。

このたび、業務時間外および宿日直業務時における職員の負担軽減を目的に、今年10月から業務時間外の電話応対に自動音声ガイダンスを導入します。自動音声ガイダンス導入後は、市役所へ電話をかけた場合に操作方法などになるため、今後、広報紙や市ホームページなどで市民の皆さんに周知を図ります。

岡山大学との連携

今年度、瀬戸内市民病院では、岡山大学と「オンライン診療」に関し、連携の協議を進め、医療の質と患者の利便性の向上を図ります。「オンライン診療」では、

瀬戸内市民病院の診察室と岡山大学病院をオンラインで結び、岡山大学病院の医師の診察や薬の処方を受けることができます。来年度から開始できるよう協議、準備を進めます。

**おかやまハレいろキャン
ペーン2024**

一昨年度行われた「岡山デザインネイションキャンペーン」を継続・発展させた「おかやまハレいろキャンペーン2024」が、9月から11月までの間、県内全域で開催されます。

市では、実施主体である岡山県や観光関係団体などと連携し、歴史・文化に関する企画として「日本刀の聖地・長船で刀剣の歴史を体感」することができイベントを実施します。

また、飲食店や宿泊事業者の協力により、日本刀をテーマにしたスイーツなどのグルメ商品や宿泊プランを創作してもらい、ホームページ、SNS、パンフレットなどで発信し、誘客に努めます。